

令和6年度 学校図書館活用計画・評価シート

白地部分：計画策定時記入（年度当初）

水色部分：評価時記入（年度末）

足立区立 第七 中学校 校長 柏木 圭子

1 学校教育目標

進んで学ぶ人
心身を鍛える人
思いやりのある人

2 現状の学校図書館の課題

- ① 開館時間を延長したが、放課後に生徒の利用が増加しなかった。
- ② 学校図書館を全く利用しない生徒が一定数存在している。
- ③ 授業利用がほぼ無い。

3 今年度の学校図書館の重点目標

- ① 日常的に読書ができるよう、読書習慣を身につけさせるために昼休みや放課後に、生徒が様々なジャンルの本に触れられるようなしなかけを工夫する。
- ② 図書館の本や新聞等を活用しながら探究活動を進め、課題に対して自分の考えをまとめたり、表現できたりするよう指導する。
- ③ 学校図書館のきまりや仕組みを守り、学校図書館を活用させる。

4 今年度の重点的な取組

- ① 読書の楽しさやおもしろさを味わわせ、読書への興味や関心を高めさせる。
- ② 学校図書やICT機器を活用し、探究活動を推進する。
- ③ 学校図書館の活用をとおして考えを広げたり、深めたりしようとする意欲を育てる。

5 教科等における年間指導計画（対象学年は○数字で記載）

教科	内容（学校図書館の図書や資料を活用して取り組む単元等）
国語	①情報社会を生きる ③情報社会を生きる、読書生活を豊かに、読書に親しむ
理科	①②③調べる学習コンクール

実践の評価

--

6 図書館運営計画

(1) 日常的な取り組み

- ① 入学当初に新入生全員にオリエンテーションを実施する。
- ② 国語科の授業の中で「日本十進分類法NDC」や図書館活用方法等について説明する。
- ③ 毎日、昼休みと放課後に生徒が自由に図書を閲覧、貸し出しができる時間を設定する。

(2) 主な行事等の取り組み

- ① 行事の調べ学習時に必要な資料等のレファレンス対応
- ② 読書感想文の事前・事後指導

(3) 図書委員会などの取り組み

- ① 学級文庫（前期・後期）の整備
- ② 朝読書の呼びかけ
- ③ 新刊図書の紹介

(4) 環境整備の取り組み

- ① 学校図書館を開館する日数、時間数を確保する。
- ② 昨年度より放課後の開館を30分延長し、生徒が利用できる時間を増やす。

(5) 司書・外部との連携

- ① 司書教諭と学校司書が協力しながら読書活動の推進に取り組む。
- ② 各学年、各教科の授業内で活用を推進するために呼びかけ、蔵書や資料を充実させる。

実践の評価

7	学校図書館利活用に関する成果目標	達成基準	達成状況
①	読書の楽しさやおもしろさを味わわせるために、昼休みや放課後に、生徒が主体的に学校図書館を活用し、朝読書（週50分）や家庭で、日常的に読書ができるよう、読書習慣を身につけさせる。	生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数 前年度比10%増。	
②	図書館の本や新聞等を活用しながら探究活動を進め、課題に対して自分の考えをまとめたり、表現できたりするよう指導する。	学年生徒の調べる学習コンクール参加率50%以上。	
③	考えを広げたり、深めたりするために授業で学校図書館を活用する。	読書や探究活動の授業を年3回以上実施する	

8 学校図書館全体に関する自己評価